



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催 さくらんぼラウンド



H26.10.4 山形中央高校
(Sat)

平成 26 年度 北海道・東北ネットワーク研究会が開催されました。時期的に「さくらんぼラウンド」より「芋煮会ラウンド」でしたが……。佐藤豊先生をはじめ、岩手県 4 名、秋田県 1 名、東京都 2 名、山形県内 13 名参加のもと、日中・夜ともに、内容の濃～い、非常に充実したラウンドとなりました。

1 トピックス及び評価機会検討グループワーク

学習評価についての話題提供の後、佐藤教授から、指導と評価の計画について、評価機会の設定の説明をいただき、各班でのグループワークで実際に評価機会を設定する作業を行いました。時間が短いなかでの作業でしたが、各グループ様々な意見を出し、工夫されていました。



2 実践発表

続いて、実践発表として、小中高から 3 名の先生方に発表いただきました。



「確かな力を育てる支援のあり方」～一人一人が伸びる場の工夫とは～

山形大学附属小学校 阿部玲子先生

阿部先生からは、小学校 6 年生の器械運動（跳び箱運動：大きな台上前転）の指導について、発表がありました。工夫した教師の支援、積極的な仲間の支援により、技能を習得していく児童の姿が、動画等ではっきりとわかる内容でした。

「対話力をみがき、実践力を高める保健学習のあり方」

山形大学附属中学校 村山理香 先生

村山先生からは、保健学習について、中学生が考えるライフステージにおける健康課題、中学生に対する性に関する指導等についての発表がありました。今の中学生の健康に対する考え方に対し、村山先生が指導したい内容や、指導のあり方について、村山先生の熱い想いが伝わってくる内容でした。



「3年間を見通した指導と評価の計画の作成」～体づくり運動における自己のねらいの明確化のために～ 県立寒河江高校 白田亜弓先生

白田先生からは、体づくり運動について、3年間を見通した指導と評価の計画を作成し、自己のねらいに応じて卒業後も継続可能な運動の計画を立て取り組むことができるような計画の工夫を発表していただきました。先生方からは、中学校までの事例は何度か見たが、高校での授業の内容等を知ることができて大変良かったとの声をいただきました。



3 まとめ

最後に佐藤教授から、各先生方から発表していただいた事例のまとめと、2020 年東京オリンピック後の日本を占う提言として、イギリスロンドンオリンピックのレガシーについてお話しをいただきました。

4 その他

「きりたんぼラウンド」(秋田県)平成 27 年 1 月 10 日(土)です！ ふるって御参加ください！